



スマイル・ボックス

- 下村会長 濱上幹事/本日ビジターにてガバナーノミニー有村茂樹様、東 RC 中川大作様ようこそ当クラブにおいでいただきました。本日は海江田パストガバナーによる卓話です。宜しく願いいたします。また、先週の会長の時間に触れ、FAXでもご案内いたしましたとおり、マイロータリーの登録については、特に希望がなければクラブで行うことと致しました。宜しく願い申し上げます。
- 海江田 順三郎さん/遅くなりましたが、先月、竹添さんから、鹿商創立 130 周年記念の同窓会名簿を頂きました。本日の私の卓話資料の印刷を、川路さんにご協力頂きました。お二方に感謝申し上げます。
- 本坊 修さん/今日の卓話、海江田さんの戦争中の話と云うことで楽しみに来ました。
- 池島 泰光さん/本日は結婚記念日祝いを賜りありが

とうございます。結婚して 45 年!!いつも家庭を守り会社を支えてもらっています。感謝の気持ちをもって励んで行きたいと思えます。本日はありがとうございます。

●丸山 健太郎さん/今日の会員卓話は「私と戦争」をテーマに海江田さんをお願いしました。来年は戦後 80 年であるとともに、昭和 100 年の大きな節目です。昭和がどんどん遠のく中、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルのガザ攻撃など、世界はきな臭くなっています。この機会に戦争を実体験した方からリアルなお話を伺いたいと考えました。本日は会議で出席ができませんので、スマイルで企画意図をご報告させていただきます。海江田さん、よろしく願いいたします。

●浦島 優子さん/結婚記念お祝いありがとうございます。26 年目になりました。さらに大人しくなろうと思えますが、なかなかできません。これからも夫に感謝しながら精進いたします。

9月9日のスマイル 小計 18,000円 2024~2025年度 累計 182,975円

ロータリーソング:「それでこそロータリー」
職業宣言唱和:3・4
ビジター紹介:ガバナーノミニー 有村 茂樹 様
鹿児島東 RC 中川 大作 様
食事:「百万ドル食事」・「本日の演奏」
会長の時間:下村 哲也 会長
結婚記念お祝い:池島 泰光さん(15日)、
園田 剛介さん(18日)、
浦島 優子さん(26日)
会務報告:濱上 友美 幹事
1) 本日の配布 ①週報 ②ロータリーの友
③ガバナー公式訪問集合写真
(例会出席者のみ)
2) 学習会・ラウンドテーブルのご案内(9/6
FAX 済)
日時:9/25(水)18:30~
会場:遊食 そう家
出欠回答締切 9/17(火)
3) 鹿児島東・鹿児島大学アカデミー RC との合同
例会
10/21(月)の例会は、合同例会のため、10/18
(金)18:30~会場:稲盛記念館 2F ヴェジマル

第2146回例会記録 9月9日(月)

シェに変更となっております。後日、ご案内をお送りいたしますので、出欠のご回答よろしく願いいたします。

4) RCC 例会 11:00~ リンクビル9階
9/22(日) 指名出席者→本坊・丸山 各会員
5) 次週・次々週 9/16、9/23(月) 祝日のため
休会
次回 9/30(月) 例会プログラム ゲスト卓話
かごしま探求プロジェクト 手嶋 州平様
出席報告:出席委員会
スマイルボックス:親睦委員会
3分間情報:友のみどころ=広報雑誌 IT 委員会
ガバナーノミニー挨拶 有村 茂樹様
卓話:会員卓話「私と戦争」
海江田 順三郎さん

次回例会 令和6年10月7日(月)
ゲスト卓話
米山奨学記念生 グエン ティ トウ 様

出席率	会員数	出席数	出席報告
第2146回例会	52名	32名	62.75%
前々回(8月26日)の補正	52名	40名	76.92%

本日のプログラム ゲスト卓話 かごしま探求プロジェクト代表 手嶋 州平 様
9月 基本的教育と識字率向上月間/Rの友月間
前回例会出席率 62.75%

会長の時間 会長 下村 哲也 60代 テレビ:約244分 ネット:約103分
以上の通り、メディアの利用形態は世代によって
だいぶ異なっています。

みなさんこんにちは。
先ほどもご紹介申し上げましたとおり、鹿児島東ロータリークラブ、ガバナーノミニーの有村茂樹様と、中川大作様においでいただいております。



さて、先週と先々週私の事務所に、大学院の学生さんと、大学の学生さんが来ておまして、ロータリークラブにもお邪魔をさせていただきました。いずれも 20 代の若い方です。

お若い方と話していると、テレビを持っていないという話が出て驚きました。ちょうど、先日のガバナー訪問の際、ガバナーより、ソーシャルメディア等を通じた発信の強化を要請されていたので、日本人、中でも若い方々はどのようにメディアに触れているのかということ調べてみました。

総務省の「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」によれば、概ね次のような結果が出ています。

平日における主なメディアの平均利用時間(全世代)
テレビ 平成24年:約184分→令和4年:約135分
ネット 平成24年:約72分→令和4年:約175分
休日における主なメディアの平均利用時間(全世代)
テレビ 平成25年:約225分→令和4年:約183分
ネット 平成25年:約86分→令和4年:約187分
全世代平均でもネット利用時間がテレビ利用時間を上回っておりますが、世代別に見るとより顕著な結果が出ています。

平日における主なメディアの平均利用時間(世代別)
20代 テレビ:約73分 ネット:約265分
40代 テレビ:約124分 ネット:約176分

では、ネットに関し、具体的にどのようなツールを使っているのでしょうか。

- LINE
全世代で9割前後の利用率
- YouTube
10代~50代で80%後半~100%近く、60代で約66%
この2つのメディアの利用率が圧倒的です。
一方、世代により利用率が顕著に異なるメディアもあります。
- Twitter(現 X)
20代:約79%、10代・30代・40代:約45~55%
50代以上:20%台
- Facebook
30代:約47%、40代:約38%、20代・50代:
20%後半
- Instagram
10代・20代:70%台、30代:約64%、40代:
約49%、50代:約40%、60代:約21%
- TikTok
10代:約66%、20代:約48%、30代~50代:
20%台

当クラブは Facebook を運営していますが、利用者のボリュームゾーンは 30 代~40 代であり、新入会員の年齢層と重なっているのではないかと思います。

今後、Facebook の更新を充実させていこうと思います。ありがとうございました。

会員卓話

「戦争と私」

海江田 順三郎



昭和3年生まれで満96才の私の人生の中で戦争の期間は満州事変（昭和六年）に始まり太平洋戦争が終結した昭和20年までの15年間であり、今までの年齢の7%弱に過ぎません。しかし戦争中に起こされた影響は私の人生に大きな変化を及ぼしました。

先ず明治初期に祖父が起こした米穀卸商の家業が戦時の食料管理法で半公営化されたこと、米軍の鹿児島市大空襲により生まれ育った生家が焼失したこと、家業を継ぐ目的で入学した鹿児島商業学校が工業学校に校種転換される前に二中（甲南高校の前身）に転校し、陸軍航空士官学校を受験（入学前に終戦）したこと、旧制高校七高から京大へと最初に志望した学歴を変更したこと、何よりも昭和2年の早生まれまで軍隊に徴兵された戦争末期に、昭和天皇のご聖断で戦争が終り一億総特攻の死地から免れたことなどです。翻って戦時中の勤労働員令により学窓を離れ自宅を離れて勤労奉仕に明け暮れた日々を回想しますと、鹿屋の海軍航空隊での空襲から軍用機を防護する炎天下の掩体壕造り（コの字型に土嚢を積み上げる）より始まり小倉陸軍補給所、造兵廠での有刺鉄線（鉄条網）の保管作業、最終の佐世保海軍工廠での旋盤工作と工場疎開に伴う土方作業と、いづれも不慣れな労務に悪戦苦闘が続く中で食料不足による空腹と、工具宿舎でのノミ、シラミ、南京虫の夜間襲来による睡眠不足、晝夜を分かつた発令される警戒警報下の防空壕への避難などにもめげず、日本の必勝を信じさせられていた私たちは昭和天皇の終戦を伝えられる沈痛な玉音放送にとめどなく涙を流しながらも、戦争の苦難から解放され、鹿児島に帰れる喜びなど悲喜こもごもな感情に襲われました。終戦後三食分の弁当が支給され列車で佐世保を後にしましたが、途中数ヶ所の鉄橋が空襲で破壊されており、列車を降りて橋に付設された細い板橋を歩いて渡ったり、駅舎に野宿などして三日目に家族が疎開していた市比野にたどり着きました。

情報集会報告

テーマ「親睦の深め方」

■第2班

発表者 林 幸一郎

参加者：高岡、濱上、小福田、梶、福留、林
一週間に一度、昼食を共にしている中であり、そこでの会話が親しい中が創られるのではと思っていました。ただ、実際は、食事を少ない時間で終わらせ、他のイベントに追われ、13時30分に帰る、その繰り返しのみの状況では難しいのではないかと意見がありました。そこで2班が考えた内容についてお伝えします。

1. 月に一度は夜例会にすることで会話が増えるのでは、、、
2. 例会に家族も参加させ、プライベートを垣間見ること親しくなるのでは、、、
3. 席替えで多くの人と触れ合える、、、
4. 各自が所属する委員会での飲み会、、、
5. メンター制度、特に新規会員には面倒を見てくれるベテラン会員さんが各種会合にアテンドする、、、
6. 同好会を作る、、、
例) ゴルフ、バイク、登山、ボーリング
お酒などなど
7. 海外のロータリーを知る、、、
セ釜山RCへの訪問、、、
8. 昼例会の30分をテーブルでの会話時間に使う時間を設ける、、、
9. 昼例会からアルコールOKの日を設ける、、、
などなど。

■第3班

発表者 國料 忠

参加者：田中、國料、下村、池畠、丸山、大迫、福山



3班では、田中さんを世話人に、池畠さん、大迫さん、福山さん、丸山さん、國料で話し合いを行いました。主に、月曜日の昼の例会で親睦を深める方法もあるのではないだろうかという話になりました。そのために、会員卓話を増やしてはどうだろうか？

という意見が出ました。テーマは自由に、仕事や趣味などそれぞれが思うことを、数人ずつ話していただくことが親睦を深めることにつながるだろう。これこそ様々な職種の方の集まりであるロータリーらしい、親睦の深め方になるという話になりました。また、退職などを理由に会を離れた方も参加できるOB会を開催することも、広い意味での親睦を深めることになるのではという意見も出されました。

■第4班

発表者：浦島 優子

参加者：橋元、浦島、石塚、川路、下



お世話になります。4班の情報集会の報告をいたします。

親睦の深め方についてまず意見として出たのは、新入会の時に詰めて出席の方が良く最初が肝心ではないかという事でした。

新入会の方の集まりをしたり、ラウンドテーブルへのお誘いなど繰り返す中で次第に打ち解けてくると思います。

また3ヶ月毎に席替えをしたり、会員の顔を知ること他の活躍を知るきっかけになると思います。また会長の時間を会員卓話にしてもいいのでは、という意見もありました。

■第5・6班

発表者 折田 健市郎

(代読 吉田 健朗)

参加者：吉田、逆瀬川、下村、丸元、本坊、池脇、吉村、田實、鈴木、原口、折田



5班・6班合同で検討した結果、親睦を深める方法として、共通の話題を共有できる形を作ってはどうか、という意見が出されました。

具体的には、同じ体験を共有することで相互の信頼関係が深まるという点から、①鹿児島島の史跡などを巡るミニツアーを企画する（現地でガイドによる案内をしていただく）、②登山、ボウリング大会などの気軽に参加できる行事を設定する、共通の関心事項を知ることができ、話のテーマが広がるということで、③各自の趣味を一覧化した資料を作る、というものです。

このうち、③の各自の趣味の紹介については、別途一覧表にする案と、現行の名簿に趣味記載欄を設ける案のそれぞれが出されました。



ガバナーノミニー 有村 茂樹様



鹿児島東RC 中川 大作様



結婚記念お祝い



出席報告



友のみどころ